

とこなめ市議会だより NO. 175

令和5年11月1日 編集 / 発行 常滑市議会

〒479-8610 愛知県常滑市飛香台3丁目3番地の5
TEL : 0569-47-6128 (直通)
E-mail : gikaigiji@city.tokoname.lg.jp



交通安全移動基地

9月26日に、秋の交通安全運動期間中の交通安全啓蒙活動として買い物客に対し、啓発品を配布し交通事故の防止などを呼びかけました。



SDGs AICHI EXPO 2023

10月5日に愛知国際展示場で行われたSDGs AICHI EXPO 2023に参加し、企業、自治体、学校、団体などの取組について説明を受けました。



八幡祭

10月1日に行われた八幡祭は、古くから多屋区に伝わる秋の祭りで旧暦8月15日に行われていました。当日は大笹に願いごとを書き込んだ提灯を町内ごとに掲げ、海槌神社境内の東にある三楠八幡神社まで練り歩きます。



山方御嶽神社例大祭

10月1日に地区の小学生が舞を奉納しました。

この度は、議会に関する市民アンケートにご協力いただきありがとうございました。皆様の貴重なご意見は今後の結果やご意見を参考に今後の議会改革に役立ててまいります。…P6



結果報告はこちらから

〈目次〉

市政を問う（一般質問）	………	P2～P6
議会改革プロジェクト特別委員会	………	P6
決算特別委員会	………	P7
定例会、協議会報告	………	P8



You Tube



いいね・チャンネル登録してニヤン



一般質問（市政を問う）

議員名の下にある QR コードを読み取ると、各議員の質問映像を YouTube でご覧いただけます。

問 公用車の市民への貸し出しについて

答 先進事例を研究し前向きに検討する



加藤代史子



認知症対策について

問 緊急通報サービスの現状とスマホなどの携帯電話でも利用できるようにする考えは。

答 本市は固定電話回線ではなく、データ通信を利用しており、ごなたでも利用できる。令和4年33人登録、出勤回数は46回。

問 認知症について市民にもっと知っていただき、地域での支えを担ってほしいが。

答 認知症サポーター制度が平成18年からスタートし現在693人。今後も増やしていく。

問 高齢者の見守りシールが進化し、2次元コード利用の自治体が増えているがどうか。

答 現在はGPSなどを使った最新仕様もある。先進事例の情報を収集し検討していく。

保育園の手ぶら登園について

問 紙おむつ、お昼寝布団、手口ふきタオルなどレンタルにし、保育園で用意するのは。

答 令和4年10月より、紙おむつのサブスクを始めている。利用者は17%。今後調査する。

問 令和5年4〜8月までの出生数は

答 146人



大川秀徳



出生数増加に向けた考え方について

問 若い世代に住み続けたい「まち」として選ばれるために、何が必要だと考えるか。

答 「若者や子育て世代のニーズに応える生活利便性の向上」「結婚から出産、子育てまでの包括的支援」「子育て世代の受け皿となる良好な住環境の確保」である。

問 定住支援事業・移住支援事業の拡充が必要ではないか。

答 こども医療費の無償化や妊活応援金、幼保こども園のICT化、空き家の活用補助金等の支援事業を展開しているが、他自治体の事業も調査・研究し、引き続き、効果的に子育て世代の心に響く支援事業を進めていきたい。

市内の出生数

エリア	令和3年度	令和4年度
青海地区	54人	40人
鬼崎地区	124人	113人
常滑地区	176人	146人
南陵地区	47人	38人
合計	401人	337人

問 内陸工業用地推進事業の市の体制は

答 担当課の設置も含め体制を考える



中村崇春



一次産業の支援について

問 農業や漁業に対する本市独自の支援策や効果、検証結果を問う。

答 農業経営収入保険制度補助や畜産農家加入の配合飼料価格安定制度の積立支援等を実施。農業者経営安定化に寄与した。

問 農業経営収入保険制度補助の継続は。

答 補助制度の再開、継続に向けて検討する。漁業者の産業廃棄物が安価で継続的に処理できるよう支援できないか。

問 情報収集するなどの協力支援をする。

内陸工業用地推進事業について

問 事業実施のため、人員確保や担当課の設置が必要と思うがどうか。また、担当課設置の場合の行程はどうか。

答 他市町では、担当課の設置が多い状況なので、本市でも担当課の設置を含め、今後の組織体制を考える。担当課設置の場合は、今年の12月議会で条例改正を上程し、令和6年3月に組織改編を行う。

問 陶磁器会館を再整備して道の駅「やきもの散歩道」に

答 道の駅に限らず、整備手法や規模などを検討したい



加藤久豊



観光拠点整備の方針について

問 陶磁器会館周辺の将来を見据え再整備計画を打ち出し、単独型「道の駅やきもの散歩道」として考えたかどうか。

答 道の駅を整備した場合、国の補助金が使えなどのメリットがあり、知名度も上がり、観光客の増加も期待できるが、一方で課題も多い。整備規模や手法は、関係者から意見を伺い、観光客の動向やニーズなども踏まえた上で検討を進めていきたい。

問 ひんくうビーチは指定管理期間を1年延長して在り方を考えたいとの方針も示された。市の目指したい方向性や方針はどうか。

答 今後の在り方については、ビーチのさらなる魅力創出をするために、民間活力を発揮しやすいようにしたい。方針は、官民連携で公共サービスを提供する事業手法を参考に、最適な手法を考えたい。

問 方針を定めるための期間が短い。未来に向け繁栄させるためには、関係者と様々な意見を交わし、より良い指針を作るべきだ。

答 スケジュールも含め再度検討したい。

問 児童育成クラブの長期休暇中に昼食提供を

答 先進事例等を参考に検討する



西本真樹



自衛官募集事務に係る対象者情報の提供について

問 情報提供の方法を住民基本台帳の閲覧、書き写しに戻してはどうか。また、望まない市民には除外申請を求めるとはどうか。

答 施行令及び法律の規定に基づく適切な対応であると考えている。除外申請の制度については検討していく。

子育て家庭の長期休暇中の対策について

問 長期休暇中の学習支援はどうか。

答 中学生を対象とした「地域未来塾」を開催した。概ね好評であったため今後も支援に努める。

新型コロナウイルス感染症 第9波の対応について

問 常滑市民病院の入院・外来患者の状況はどうか。また、本市の支援状況はどうか。

答 第8波以前のピークに近い状況。5類移行後、各自の自主的な取り組みを基本とする方針に転換した。

問 不登校児童生徒の「居場所」確保を

答 関係部門の連携をより一層強化



宇佐美美穂



不登校児童生徒の「居場所」の実状について

問 適応指導教室ばるんの利用状況は。

答 今年度8月末時点で相談があったのが19件。そのうち計8名が入級。内訳は中学生が6名、小学生が2名である。

問 居場所を見出せず自宅を過ごすしかない子供も多いのでは。

答 自宅を中心とした生活を送らざるを得ない児童生徒がいるのが現状である。

問 市内小中学校で、校内教育支援センターの設置ができていない学校は何校か。

答 小学校では0校。中学校では鬼崎、常滑、南陵中学校の3校。空き教室の確保、指導員の確保が課題。次年度に向け、国の補助金制度の活用も視野に入れて現場と検討。

問 小学校に隣接する明和児童館の平日昼間の空き時間を居場所として活用してはどうか。

答 一つの新しい考え方。社会福祉協議会と連携可能かなど精査すべき課題がある。教育委員会、社会福祉協議会、子育て支援課等の福祉部門や、関係者と意見交換していく。

一般質問（市政を問う）

議員名の下にある QR コードを読み取ると、各議員の質問映像を YouTube でご覧いただけます。

問 特任顧問としてまちづくり専門家の登用は

答 登用予定ない



岩崎忍



まちづくりについて

問 市民が当事者意識を持つための取組は。
答 「まちづくりの主役は市民」とPRしている。気軽に意見が言えるアイデア箱の設置は。市長への手紙も無記名で受け付けている。どのように市民協働を進めていくのか。
問 様々なワークショップを行っている。

ごみに関する取組について

問 電池も分別対象にしたらどうか。
答 現在の分別方法のままだが更にPRしていく。アイシテイのエコプロジェクトの参加は。一つの参考事例として検討していく。

地域猫活動について

問 環境省指針の行政主導での合意形成は。市主導のルール作りはしない。
答 地域猫活動は、地域住民のみで活動を開始するの。地域の主体的な取組と考えている。

問 道路状況の把握で市民の協力は必要か

答 公式LINEからの通報を開始



坂本直幸



市道の維持、修繕は道路管理者の責務

問 広範囲での市道の実態把握を実施しているが、市民に伝わりにくい。専用の道路パトロールカーが必要と考えるがどうか。また、なければ専用の表示はどうか。
答 専用の車両は所有していない。公用車に、必要な資機材を積んでパトロールしている。今後その際には、「道路パトロール中」の表示をして対応を検討したい。

問 老朽化した道路の損傷は、一時的な補修ではなく、計画的な修繕が妥当ではないか。
答 現状では、一時的補修は職員が対応している。その後、周辺も傷む場合は業者に発注し、まとまった範囲で修繕を行っている。



問 やきもの散歩道地区の安全確保を求める

答 観光エリアとして安全な環境づくりに努める



伊奈利信

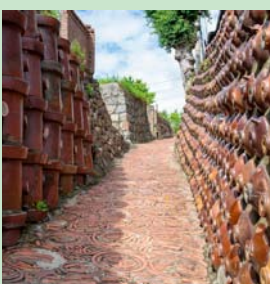


常滑市やきもの散歩道地区の安全確保と環境整備について

問 擁壁崩壊の事故後、地区内の安全点検は行ったか。その内容と今後の対策は。
答 目視による点検を実施し、地区内32か所にひび割れ等が確認された。所有者に対して注意喚起と併せて修繕等に関する補助制度の案内を通知した。

問 地区内の空き家の把握をしているか。また、利活用できない空き家の対応策はあるか。
答 この地区だけに限らず市内全域の空き家の現状調査に取り掛かっている。危険な空き家については、所有者に対して危険空き家住宅除却費補助金制度を活用し、除却していただくようお願いしていく。

問 景観条例・景観計画は策定後13年経っている。内容の検証と見直しをする考えは。
答 時代や環境の変化に合わせて検討していく。



問 ため池管理のためのシステム導入は

答 調査研究し実施に向け検討する



齋田 資



ため池の現状と今後の課題について

問 市内にあるため池の数及びそのうち防災重点農業用ため池の数はいくつか。

答 ため池は75か所、防災重点農業用ため池は34か所ある。

問 ハード整備が必要な防災重点農業用ため池はいくつか。その整備はいつまでに完了するか。

答 実施済が3か所。残る24か所については令和12年度までに着手する予定。

問 災害被害を軽減するためハザードマップによる周知が必要ではないか。

答 地区の防災講話で利用しており、今後はデジタルハザードマップの導入を進める。

問 ため池を管理する組織は高齢化が進んでいるが、新たなシステム活用で負担軽減は可能か。

答 今後、市全体の状況を把握した上でどういった対策が必要か調査研究し、県の補助制度や先進事例を踏まえ検討する。

問 体育館への空調設備導入については

答 空調設備について検討している



相羽 助宣



避難所でもある小中学校の体育館への空調設備導入について

問 体育館への空調設備の導入は検討しているか。

答 特別教室及び体育館への導入については検討しているが、すべてを同時に進めることは大きな財政負担が生じるため、整備の優先度や手法について、学校現場の声を聞きながら検討していく。

問 停電時を考慮して、自立分散型エネルギーの導入を、考えるべきではないか。

答 様々なエネルギーについて（LPガス・太陽光発電）検討が必要であると考ええる。

新学校給食共同調理場について

問 建設の進捗状況はどうか。

答 本年4月に着工し、現在、鋭意工事を進めている。進捗率は8.2%、大きな遅れもなく順調に進んでいる。

問 周辺市民の生活に影響は出ていないか。

答 着工後もトラブルはなく、引き続き、請負業者とも連携しつつ、周辺市民の生活に十分配慮しながら工事を進めていく。

問 策定中の地域公共交通計画に市民の声は

答 市民の意見を多く反映させる予定



森下 雅仁



地域公共交通計画について

問 計画策定の進捗状況は。

答 令和4年度から協議会を組織し、協議を進めている。現在素案を作成中であり、今後、パブリックコメント等の意見を踏まえ、今年度末に計画を策定する。

問 コミュニティバスグルーンの評価は。

答 昨年10月の運用開始以降、徐々に利用者が増加しており定着してきたが、地区により利用状況に大きな偏りがあると認識している。

問 空港や国際展示場利用者の市内誘導策は。

答 秋以降に地域公共交通計画とは別に実証実験を行う予定である。

問 重点的に検討が必要な地域はどこか。

答 鉄道やグルーんでカバー出来ない交通空白地域の対策が必要と考えている。

問 グルーンのダイヤなど、いずれ見直すとのことだが、その際に直接市民の声を聞く機会を設ける考えはあるか。

答 市民の意見や要望を出来るだけ計画に反映させたいと考えている。

一般質問（市政を問う）

議員名の下にある QR コードを読み取ると、各議員の質問映像を YouTube でご覧いただけます。

問 友好都市との今後の交流の進め方は

答 機会があれば宜興市以外も検討したい



成田勝之



宜興市との交流について

問 2019年に友好都市提携を締結後、新型コロナウイルス感染症世界的な流行のために両市相互の交流ができていない。今後どのように進めていくか。

答 行政は伝統工芸や食文化等、地域の特性を活かした交流を、また70周年記念事業の山車祭りに招待を検討中。経済界や焼き物業界はビジネスとしての接点を持ち続け、さらに輪を広げる。教育現場では2小学校でオンライン交流を実施したが、今年度も他の2小学校で実施を検討中。

問 市のホームページの内容充実とともに、空港の国際線到着通路などPRできないか。

答 検討する。空港においては保安上の観点から課題と考える。

問 焼き物だけでなく、様々な分野の観点から国際交流を進めることは重要。他地域との交流は考えないか。

答 交流を深められる機会があればよいチャンスなので検討したい。

問 オーガニック給食実現のために予算を

答 優先順位が高くないので予算はつけられない



井上恭子



地球の生き物のためにプラスチック製品の削減運動を

問 プラスチックの怖さを伝え、人の心をやる気にさせるために「ごみゼロ・ウェイスト宣言」をしたらどうか。

答 現在のところ宣言までは考えていないが、ゼロ・ウェイストにつながるよう取り組む。

人間形成をつかさどる食を大切に

問 国は農業者の担い手不足、有機野菜栽培面積の拡大を推奨。本市の今後の支援策は。

答 国の戦略をふまえ、化学肥料や農薬削減の取り組み、畜産農業から堆肥を供給する「耕畜連携」の取り組み。イベントへの参加など。

まちの重要建造物の重要性を把握し、

持続を求む

問 市の指定の重要文化財でなく町内所有のため十王堂が取り壊された。残す対策は。

答 町内会の所有物は自主性により管理等されており、市で把握しておらず、調査予定もない。

議会改革プロジェクト 特別委員

本委員会では7月1日から8月31日にかけて、市民アンケートに取り組んでまいりました。ご協力ありがとうございました。

回答数は73件にのぼり、10代から80代以上まで幅広い年代の方にご意見いただきました。

内容は、基本情報、選挙について、市議会への関心・評価の有無、議会情報の入手方法、市民の声が反映されているのか、要望、自由意見など、16項目にわたりました。

アンケートをまとめた調査報告書は、市議会ホームページから見ることができます。アンケート結果の概要は、YouTubeにて閲覧することができます。

アンケート結果を参考にしながら、議会の在り方の検討に取り組んでまいります。

常滑市議会では、本冊の市議会だよりだけでなく、FacebookやYouTubeでも情報発信しています。YouTubeでは一般質問の動画配信をしており、3月から委員会の審査の様子、5月から「常滑市議会ニュース」を配信しています。



You Tube
アンケート
結果速報



ホームページ
アンケート
報告書

令和4年度決算を認定



令和6年度予算編成に取り組むよう42項目を要望

決算特別委員会（委員長・伊藤史郎／副委員長・宇佐美美穂）において、決算審査が行われました。

審査は、15名の委員から事前に通告された190項目について、予算に対する成果や適正に執行されているかの確認、結果の評価などの質疑が行われました。

また、委員全員で令和6年度予算編成に向けて意見及び要望を取りまとめ、42項目を執行機関である市へ提出しました。主な意見及び要望事項は次のとおりです。

意見及び要望事項

一般会計

- ・ 放置自転車売却するときは、鉄の相場を調べて資源として取り扱われたい。
- ・ 職員の知識向上、情報共有を行い、債権管理を適切に行われたい。
- ・ まちづくり事業費補助金は、まちづくりに寄与できるよう、制度や募集要項を見直し、事業を変更されたい。
- ・ LED化されていない避難所に、LEDのバルーンライトの用意を検討されたい。
- ・ 防犯灯LED化促進補助金のように、町内会を対象とする補助金は、町内会加入者のインセンティブになるよう調査研究されたい。
- ・ 防災講座は、女性や若い人が参加しやすいものとなるよう企画されたい。
- ・ 手間や時間を省略できるDX等を活用し、総合防災訓練を実施されたい。
- ・ 子育て支援コーディネイトに携わる会計年度任用職員を増員されたい。
- ・ 地域猫に関する課題は、地域とともに連携をして取り組まされたい。

・ 地球温暖化対策事業は、ごみの減量や資源化等、市民の身近なところで進められたい。

・ 高齢者等ごみ出し支援事業は、より多くの人が利用できるよう使い勝手のよい制度にされたい。

・ 資源回収ステーションを、週1日は午後も開設されたい。

・ 農業経営収入保険補助金は、今後も継続されたい。

・ 配合飼料代金の支援を国や県に要望されたい。

・ 関係機関と連携をし、不安なく新規就農できるような協力体制、支援体制をとられたい。

・ 食と器の出逢い事業補助金の補助率は、2回目以降も初回と同様の購入金額の3分の2とされたい。また、観光客が、店内で提供されている食器が常滑焼とわかるようなPR方法を考えられたい。

・ 産業用地取得の可能性のある企業の進出機会を逃さないようにされたい。

・ やきもの散歩道地区景観計画推進会議委員は、適切な人を選任し、これからのやきもの散歩道について協議されたい。

・ 特産品開発事業は工夫を加え、よく検討して、よりよい事業に発展されたい。

・ 応急手当講習の再受講者を増やし、資格のある人を確保されたい。

・ 女性や学生の枠をつくったり、企業に消防団として加入してもらおうなど、消防団数を少しでも増やせるような、新しい枠組みを調査研究されたい。

・ 災害支援隊の人数が維持できるよう対策を講じられたい。

・ スクールソーシャルワーカーの勤務時間の拡大や増員を検討されたい。

・ 県に対し、スクールカウンセラーの増員を要望されたい。

・ 部活動の地域移行後は、部活動に参加するための費用も就学援助費の対象となるよう検討されたい。

・ ボールゲームフェスタの開催については、継続的な児童の運動能力の底上げについて、計画的に行われたい。

特別会計・企業会計

国民健康保険事業特別会計

・ 国民健康保険税は、納付している人との不公平感が出ないよう、督促、回収についてしっかりと対応されたい。

・ 高齢者相談支援センターは、各中学校区に設置されるよう検討されたい。

・ 介護給付費準備基金を活用し、介護保険料の値上げを抑制していくようにされたい。

下水道事業会計

・ (整備工事の) 工期を守るために、計画をしっかりと立て、工事に着手されたい。

モーターボート競走事業会計

・ Moonriverとこなめ及びコミュニティパークGrünについて、これからも遊具の安全性の管理に努められたい。

病院事業会計

・ 訪問看護ステーションについては、家族の体験談等を有効に活用し、効果的な周知方法を検討されたい。

決算認定案第1号から第9号については、原案どおり認定されました

令和5年 第3回市議会臨時会審議結果

(8月23日開催)

審議結果については、いずれも原案どおり可決されました。

会派名		新	維	共	公	あ	新風	繫			常翔会									
議員名		岩崎	肥田	西本	加藤	成田	宇佐	井上	大川	中村	伊奈	森下	齋田	坂本	稲葉	相羽	伊藤	加藤	盛田	
議案名		忍	裕	真	史	勝	美	恭	秀	崇	利	雅	資	直	民	助	史	久	克	
議案第36号	令和5年度常滑市一般会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一

令和5年 第3回市議会定例会審議結果

(9月4日～29日開催)

審議結果については、いずれも原案どおり可決されました。反対のあった議案のみ掲載。詳細はホームページをご確認ください。

会派名		新	維	共	公	あ	新風	繫			常翔会									
議員名		岩崎	肥田	西本	加藤	成田	宇佐	井上	大川	中村	伊奈	森下	齋田	坂本	稲葉	相羽	伊藤	加藤	盛田	
議案名		忍	裕	真	史	勝	美	恭	秀	崇	利	雅	資	直	民	助	史	久	克	
議案第41号	常滑市使用料及び手数料条例の一部改正について	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一
議案第42号	常滑市中央公民館の設置及び管理に関する条例の一部改正について	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一
議案第43号	常滑市青海市民センターの設置及び管理に関する条例の一部改正について	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一
議案第44号	常滑市南陵市民センターの設置及び管理に関する条例の一部改正について	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一
議案第45号	常滑市民文化会館の設置及び管理に関する条例の一部改正について	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一
議案第46号	常滑市温水プールの設置及び管理に関する条例の一部改正について	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一
議案第47号	常滑市小脇公園の設置及び管理に関する条例の一部改正について	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一
議案第48号	とこなめ陶の森の設置及び管理に関する条例の一部改正について	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一
議案第49号	常滑市廻船問屋瀧田家の設置及び管理に関する条例の一部改正について	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一
議案第50号	常滑市都市公園条例の一部改正について	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一
認定案第1号	令和4年度常滑市一般会計歳入歳出決算認定について	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一
認定案第3号	令和4年度常滑市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一

○：賛成 ×：反対 議長は採決に加わりません。

会派名の新は新緑会、維は日本維新の会議員団、共は日本共産党議員団、公は公明党議員団、あは新政あいちとこなめ、新風は新風クラブの略

令和5年第4回市議会定例会
会期日程(案)

12月6日(水)	開会、議案上程・説明
12月7日(木)・8日(金)	一般質問
12月12日(火)	一般質問予備日、 議案質疑、委員会付託、 予算委員会
12月13日(水)	経済建設委員会
12月14日(木)	文教厚生委員会
12月15日(金)	総務委員会
12月20日(水)	委員長報告、質疑、討論、 採決、閉会

市議会協議会

市政に関する重要な問題を全員で調査研究し、市政運営の円滑な推進を図るため、市議会協議会を開催しました。7月～9月の開催状況と提出された主な案件は次のとおりです。

- 第6回協議会(7月25日開催)
- 宿泊税の導入検討について他6件
- 臨時協議会(8月15日開催)
- 令和5年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した事業の概要
- 第7回協議会(8月23日開催)
- 自動運転バスの実証実験について他2件
- 第8回協議会(9月29日開催)
- 旧大野児童センターの今後の活用方法について

一般質問等の模様は12月7日(木)・8日(金)の午前9時30分から(録画放送は午後7時から)ケーブルテレビ(CCNC)で放送予定(再放送は12月10日(日)午前9時から)



無料アプリ「マチイロ」を使って、「市議会だより」をスマートフォンやタブレット端末に配信しています。